

市P連おおた

題字：太田市P連会長 小林 克敏

第36号

★発行所：太田市PTA連合会
★発行責任者：荒木美枝子
★編集担当：太田市PTA連合会北ブロック
藪塚本町小学校 PTA、藪塚本町南小学校 PTA、
藪塚本町中学校 PTA、強戸小学校 PTA、強戸中学校 PTA
毛里田小学校 PTA、毛里田中学校 PTA
★印刷所：オグラ印刷



次世代へ繋ぐ 持続可能な取り組みのために

太田市PTA連合会 会長 小林克敏
城西小学校PTA会長

令和6年度太田市小中特別支援学校PTA連合会会長を務めることになりました城西小学校に所属しております小林克敏です。平素より当連合会の活動に対しまして多大なるご理解ご協力をいただき厚く御礼申し上げます。

去る5月17日に開催された定期総会において会長としてご承認いただくとともに、今年度の活動テーマ「時代に適した持続可能な活動を考えよう」前向きに取り組み続けられる体制づくりを」を掲げさせていただきました。

昨今の私たちを取り巻く環境は、インターネットの普及に伴いSNS等の発達により、世界中のあらゆる情報を瞬時に見ることができ、近年においてはウィルス感染や他国で行われている紛争、地球温暖化等の影響がリアルタイムに私たちの生活に襲いかかり、物事への価値観が短期間でガラリと変わり、物価高騰も相まって先行きの見えない時代に突入しつつあります。

また、国内の社会情勢においても少子化、高齢化社会が進み、働き手不足が深刻な問題になりつつあります。数十年前の間、賃金が上がらない状況が続き、近年

の物価高騰も合わせて共働きの世帯が増加し、普段の生活サイクルをまわすだけで手一杯な状況です。唯一時間が創れたとしても家族と過ごすか、自分自身のリフレッシュに費やしたいと思うのが関の山です。そんな状況の中、PTAにおいても担い手不足が深刻なことは言わずもがなです。子ども達の健全な育成を支えるのは、健全な家庭環境ありきです。

ハラスメント、長時間労働の解消等の働き方改革により以前では氷山の一角として目を瞞っていたブラックな部分は、どんどん浮き彫りとなり洗いざらい整理しようという社会的風潮になっていきます。PTAの活動も同様で、誰かに重責を担わせるのではなく、取り組みやすい環境づくりが、担い手を増やすためにも今や正しい方向性だと思っています。

変化が激しく先行きの見えない時代だからこそ、まさに私たちが変化を求められているように思います。子ども達の健全な成長と学びの場を支えるためにも、保護者と教職員が協力し合い、各学校を支援できる意義ある活動を目指して全力を尽くしてまいります。



「真の笑顔」の実現を目指して

太田市教育委員会 教育長 恩田由之



太田市PTA連合会の皆様におかれましては、日頃より本市教育行政の推進に、ご尽力を賜り厚くお礼を申し上げます。また、未来を担う子ども達の健全な育成を図るため、情報共有の機会提供や地域や行政への情報発信・提言、単位PTAの助成・会員への還元など様々な活動に取り組まれていることに対し、心より敬意と感謝の意を表します。

太田市教育委員会では、今年度のスローガンに「Realize the students、

「true happy faces」を掲げています。そして、市内全ての小・中・義務教育学校が一丸となって、以下の三点に取り組むことが、子ども達の「真の笑顔」の実現につながるかと考え、共通理解や取組の確認、よい取組の共有を図っています。

①多くの活躍の機会を保障し、達成感を味わわせ、個性を伸ばさせること
②一人ひとりの子どもが背負う課題や重荷を理解し、きめ細かな配慮を行うこと
③本市の重点課題であるい



「真の笑顔」の実現するには限界があります。各教育現場において、学校や家庭、そして地域の方々の参画を得て、地域の総合力を発揮していただくことが不可欠であると考えています。引き続き、皆様のご理解・ご協力をお願い申し上げます。

結びに、時代の変化に合った持続可能な体制づくりを図る今年度の皆様の活動が、更に充実したものになることをご期待し、太田市PTA連合会の更なる発展と、皆様のご健勝を祈念申し上げます。



「地域社会と共に育む子どもの未来」 ～家庭で向き合い、学びを深めよう～

太田市PTA連合会 家庭教育委員長 委員長 原田美絵

令和6年度家庭教育委員長を務めさせていただきました。そこで人とのかわりなどがコロナ禍で難しくなってきた子どもが増えているように感じましたので、今年は、まず人間関係を構築するには家庭からと考える親子でともに時間を共有できる時間を作れるように全5回の活動を考えました。

第一回家庭教育委員会ではわくわくトークキングを行いました。

第二回では、最近いろいろな事故があり、子ども達の命が危険にさらされることが多いため少しでも助けられる方法がないかと考え「救命救急」を太田市消防

1年がたち日常に戻ってきました。第3回では、太田市を代表するCBWACの工場見学を予定しています。

第四回では、親子で体を動かしながら、「防犯・護身術」について学べる会を予定しています。

第五回では、「子どもをまもる薬物依存とゲーム依存」について講師の先生のお話を聞きみんなで話し合いをしたいと考えています。

みんなで笑顔になれる時間をたくさん作れるよう役員一同精一杯務めさせていただきますので一年間よろしく申し上げます。

総会・懇親会を終えて (次に繋げるために)

5年ぶりにコロナ禍以前の総会・懇親会を開催することができました。久しぶりに集う各PTA会長や校長先生の方々、やはり、顔を合わせて語り合うことが「子ども達のより良い学校生活を考えるきっかけが得られる」と改めて感じました。

また、暫く通常の総会・懇親会が行えず引き継ぎも簡略化されたため、今年は担当スタッフに多くの負担が生じてしまいました。そのような中、当日は滞りなく会を開催できたこと、心からお礼申し上げます。

さて、昨今PTAの存在意義について様々な意見がありますが、いま私たち役員にできることは、ひとつの「行事のスリム化」や「会議の効率化」を具体的に実行することだと捉えています。

そこで今回、PTA役員



が始めて設営をしたとしても負担なく行えるよう「総会・懇親会、準備・設営マニュアル」を作成しました。このような取り組みが次年度のPTA活動の負担軽減に繋がれば幸いです。



藪塚本町南小学校

藪南小PTAの特色として、本部や専門部が企画するイベントがあります。どちらも親子で楽しめる内容となっています。

本部が企画するイベントとしては、令和4年度は体育館で音楽や軽スポーツを親子で楽しみました。50名ほどの参加者があり、マットや平均台を使って体を動かし、クライミングにも挑戦し、その後、プロの方のピアノの演奏を楽しみました。令和5年度はインフルエンザで実施出来ませんでしたが、校内クイズラリーや親子エアロビ教室を企画し、40名以上の応募がありました。



また、専門部が企画するイベントとしては、親子陶芸教室があります。ぐんまこどもの国の工房を会場にして、お皿やコップなどを親子でつくるもので、毎年抽選になるほどの人気イベントです。今年も楽しい企画を計画中です。

令和5年度はインフルエンザで実施出来ませんでしたが、校内クイズラリーや親子エアロビ教室を企画し、40名以上の応募がありました。

子ども達の学び

藪塚本町小学校
藪塚本町南小学校
藪塚本町中学校
強戸小学校
強戸中学校
毛里田小学校
毛里田中学校

藪塚本町小学校

藪塚本町小学校は太田市で一番生徒が多いマンモス校で勢いがあり、パワーが漲っている学校です。そんな藪塚本町小学校はPTA本部役員、学年委員長の方々がとても協力的で連携が強く積極的に活動しています。

今年のPTA活動では6月に水難事故に係る防災セミナーを行います。殆どの事故は知っているか知らないかで命を守れる事が往々にしてあります。そして知識さえあれば、より安全に川や海で遊ぶことができます。藪塚本町小学校ではこのようなセミナーを通して、子ども達がより多くのものに触れ、経験し、もっと広い世界を見ていけるよう考えて活動しています。



また、藪塚本町小学校は太田市では北に位置し最も標高が高いので風当たりは強いが災害には強い、その中で防災の知識まで得られれば鬼に金棒です。

最後に太田市の学校は藪小のおかげで赤城おろしが和らいでいることも忘れないでください。そして砂埃は藪塚からの贈り物です。

強戸小学校

黒いスーツとサングラスに身を包んだ大人たち。X計画によりハンター化した校長先生。ハンターからの強襲を逃れながら、数々のミッションが課せられた逃走者たち…

強戸小学校では、PTA活動として『逃走中 in 強戸小学校』を実施しています。逃走者である多くの子ども達の参加、また、ハンター・運営スタッフとして先生方・保護者の支えもあり、令和4年度から実施してきました。新型コロナウイルスによる活動自粛の時期を乗り越え、子ども達が楽しく活動できる場の創出に取り組んでいます。



『たいてかぶってジャンケンポン』『学校や先生に因んだ〇×ゲーム』『逃走者VSハンター&全運営スタッフでの綱引き』等々、低学年から高学年の子ども達みんなに、さらには、参加者全員に気軽に・楽しく取り組んでもらえるミッションを企画しています。今年度も、子ども達の活動の場として、よりグレードアップしたPTA活動の企画を思案中です。

毛里田小学校

本校は明治6年に創設され、数度の合併や改称を経た後、昨年創立150周年を迎えました。地域の豊かな自然の中で、現在児童数485名のもりたっ子が活発に毎日を過ごしています。

150周年記念行事として、子ども達が喜び思い出になるような行事をとの思いで、(劇団かかし座)による影絵の上映を行い、子ども達は吸い込まれるように見入っていました。その他



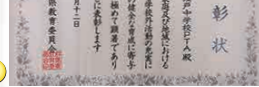
に、親子参加型での夏の除草や校庭内の整備・うさぎ小屋の撤去や歴史のつまったポストの塗り替え、下校時の安全パトロール、朝の絵本読み聞かせ、講師を交えた人権講演会の開催を行いました。校長先生をはじめ諸先生方のご尽力、保護者のご協力に大変感謝しています。

今後は、地域ボランティアも交え更なるパワーを頂ける予定になっております。活動していく中で、PTAは校長先生はじめ先生方、保護者・地域ボランティアの方々と子どもをとりまく環境がよりよくなるよう協力していきたいと思ひます。

強戸中学校

強戸中学校は、令和2年の臨時総会を経て、少ない人数でも継続できるよう組織を改編し、保護者・教職員の負担軽減を進めました。令和3年を経て4年5年と通常活動を可能にしたことにより、群馬県教育委員会から、PTAの組織改革の実践事例で令和5年に表彰を受けました。

また、PTAの年間活動として、毎年6月に保護者向けの講演会、年末に生徒重視の講演会と、年2回の講演会を行っています。近年では、保護者向けに行った防犯講座「犯罪から子どもを守る」や、生徒・保護者向けに行った、夜回り先生(水谷修先生)の「どこまでも生きぬいて一夜回り先生いのちの授業」・比田井和孝先生の「幸せな人生を歩むためにとても大切なこと」は大変好評だったようです。



地域の諸団体と協力体制を大切にする事により、設営が難しくなく、子ども達からの感想も頂き、内容も濃く、PTA主催の自慢の講演会となっております。



藪塚本町中学校

藪塚本町中学校PTAでは、学校の協力のもと、令和3年度卒業式から業者に委託し、式典の撮影とDVDの販売を行っています。コロナ禍で参列人数に制限があり、自宅でも観られるよう生配信を始めました。

令和4年度は体育祭も生配信をし、前年度までは見ることも叶わなかった子ども達の頑



張る姿を自宅で観ることができました。コロナが終息してからも、卒業式と体育祭をPTAの事業として活動させていただけることは、学校の協力がなくてはできないことだと思います。

また本校PTAでは、広報紙の発行にも力を入れています。紙面の改正を行い、学校での活動や行事など写真を使い分かりやすく、PTAの活動も周知させていただいています。令和3年度から3年連続で県広報紙コンクール入賞をすることができました。年度初めに発行する、学校職員紹介は保護者のみなさんからも好評を得ています。

今後も、これらの活動を継続していきたいと思ひます。



毛里田中学校

毛里田中学校の四本柱は、「挨拶・清掃・緑化・合唱」です。緑化活動は、春に一人一人が学年の花壇に苗を植え、毎日の水やりは緑化委員が当番で行い、夏休みや冬休みの長期休業中は部活動ごとに行います。

玄関に咲いている花は来校される方々をお迎えするために、伝統ある対面式の卒業式や入学式では、プランターで壇を囲み、卒業や入学を祝うために、学校全体で花を大切に育てています。毛里田中の自慢のひとつにPTA活動があります。昨年度の親子奉仕作業は、地域清掃の一環として国道50号の高架下のごみ拾いを親子で行いました。トンぐで拾いながら、ゴミの多さやマナーについて親子で考える機会となったようです。また、本校の敷地内には、常時資源回収ができるように、リサイクル倉庫があります。学校や家庭のみならず、地域の方々がたまったアルミ缶やダンボール、古紙をいつでも持ち込めるようにするためでもあります。地域全体で資源の大切さを理解し、リサイクル活動を推進していくためでもあります。そして、保護者の方々による防犯パトロールです。当番制で生徒の下校時に合わせて、通学路をパトロールします。危険な箇所や日頃の生徒の自転車走行の様子などを日誌に記入してもらい、保護者の方からのコメントを学校での指導に活かしています。



今後も「学校・家庭・地域」の連携で生徒を育てていく毛里田中学校を目指していきたいと思ひます。

